

## 循環器内科



循環器科内科部長  
八木 哲夫



カテーテル室

### 診療内容と実績

病院移転に伴い設備も拡充し、循環器疾患全般の積極的な診療を行っています。不整脈分野が専門領域ですが、虚血性心疾患、心不全などの重症例に対する診療も重視しています。

- 不整脈診療：カテーテルアブレーション約250例、ペースメーカー約100例
- 狭心症、心筋梗塞：トレッドミル、負荷心筋シンチグラフィ、冠動脈造影(CAG)約500例、冠動脈形成術(PCI)約210例
- 循環器救急医療：大動脈バルーンポンピング(IABP)約20例

研究活動としては、臨床心臓電気生理学的検査やカテーテルアブレーションによる臨床研究のほか、心臓超音波やホルター心電図などによる非侵襲的な分野の臨床研究も行っています。

### プログラムの目的と特徴

不整脈診療と循環器救急医療が当科の二本柱です。不整脈診療に関しては、1972年に本邦でEPSが導入された時代から行っており、伝統的に強い分野です。年間280例のカテーテルアブレーションを行っており、CARTO、Navxをはじめ、Rhythmiaの導入も予定しており、全国でもトップクラスの不整脈関連機器を有しています。学術活動も活発で、循環器学会地方会の症例報告を大切に、その過程から学術総会やHeart Rhythm年次総会での発表、学位へつながる英文論文の掲載を目標としています。

救急医療の中心は、虚血性心疾患であり、CPAの低体温療法やPCPSを積極的に用いることで、患者様の社会復帰を目指しています。

指導体制は不整脈専門医6名、PCI専門医・認定医3名と充実しており、救命センターを有する総合病院として、循環器疾患以外の幅広い症例の経験が可能です。当院は、他科との連携が密であり、専攻医は循環器内科に属した研修を行いながら他科の症例を経験することが可能であり、またプログラムの中で、国立循環器研究センターでの研修(6か月間)を選択することも可能です。

循環器専門医を目指す場合、他科をローテートすることなく、内科専門医と循環器専門医を取得可能なプログラムとなっています。臨床研修2年目の4月までに日本循環器学会に入会すれば、1年早く循環器学会専門医資格を取得できます。

### 研修内容と到達目標

#### ■短期研修

- ・心臓超音波、中心静脈の確保、循環器救急疾患への対処、重症心不全の管理
- ・認定内科医取得の準備
- ・院内誌への投稿
- ・循環器学会東北地方会や内科学会東北地方会での発表

#### ■1年研修

- ・冠動脈造影や臨床心臓電気生理学的検査、経食道超音波などの循環器疾患に対する基本的な検査手技の習得
- ・認定内科医取得の準備
- ・全国学会での発表、地方学会のシンポジスト、全国学会誌への投稿

#### ■2年研修

- ・カテーテルアブレーション、冠動脈形成術、ペースメーカー植え込みなどの循環器治療手技の習得
- ・循環器専門医の取得準備、インターベンション専門医の取得準備、不整脈専門医の取得準備
- ・全国学会、地方会での発表、地方学会のシンポジスト、海外学会での発表、全国学会誌への投稿